

クラス(J)・整理番号(38)・名前(三井 知世)

[1] 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

木畑洋一の『20世紀の歴史』では、「長い20世紀」という時間の枠組みが採用され、
(a) 1870年代から1990年代初めまでの時期が考察対象となっている。

19世紀後半から20世紀初めにかけての時期には、植民地支配を正当化する意識が支配国の国民の間で広まっていた。これを「帝国意識」と呼ぶが、この意識は、文明の進んだ本国の人々が植民地の「遅れた人々」を指導・教育し、保護するのだ、という (b) パターナリズムを伴っていた。また、この意識は (c) 人種による人々の差異を重視し、それを各人の能力や発達度と関連付ける人種主義と密接に結びついていた。

- 1) 下線部(a)について。「長い20世紀の」初め(1870年代)と終わり(1990年代初め)にはそれぞれどのような出来事があったのか。(2点×2)
- 2) 下線部(b)のパターナリズムにもっとも関係が深いと思われる漢字を次の選択肢から選び、その記号を書け。(2点)
ア. 父 イ. 母 ウ. 夫 エ. 先生
- 3) 下線部(c)について。日本が台湾や朝鮮を植民地として支配する場合、同じアジア人として人種的一体感を標榜するスローガンが用いられた。その例を一つ挙げよ。(3点)

[2] 次の年表を見て、下の各問いに答えよ。

1895年:[A]殺害事件
1897年:朝鮮王国が国号を大韓帝国とする。
1904年2月:日本と[①]の戦争が始まる(1905年9月まで)。
1904年8月:第一次日韓協約。
1905年11月:第二次日韓協約。
1907年6月:ハーク密使事件。
1907年7月:第三次日韓協約。以後、[②]闘争が活発化。
1909年10月:[B]が殺害される。
1910年8月:「韓国[③]に関する条約」が結ばれ、大韓帝国は植民地[④]となる。

1) AとBの[]内に入る人名を次の選択肢から選べ。(2点×2)

ア. 伊藤博文 イ. 高宗 ウ. 西太后 エ. 大院君 オ. 寺内正毅 カ. 閔妃

2) ①~④の[]内に入る語句を書け。(2点×4)

3) 3つの日韓協約それぞれの内容について最も適切に説明したものを次の選択肢から選べ。(2点×3)

- ア. 韓国は内政権を失い、軍隊も解散させられた。
イ. 韓国は外交権を失い、保護国となった。
ウ. 韓国領土内の軍事上必要な地点を日本が取り上げて利用する。
エ. 日本政府が財政・外交顧問を推薦して韓国政府に派遣する。

[3] 次の資料を読み、下の各問いに答えよ。

「九月覚書」

フランス 軍事的観点から、……ダンケルクからブローニュにいたる海岸線の割譲を検討する。

ベルギー リエージュ……はプロイセン[ドイツの一州]に併合される。(中略)

いずれにせよベルギーは、国家としての外見は維持するにしても、ドイツの衛星国とし、軍事上重要な港湾における占領権と海岸の自由な軍事的使用をドイツに許し、経済的にはドイツの一州にならねばならない。

- 1) 上の資料は第一次世界大戦が始まった年の九月に作成された。西暦何年か。(2点)
- 2) 上の資料は、ドイツの歴史家フィッシャーの研究において用いられ、第一次世界大戦におけるドイツの戦争責任についての解釈を大きく変えた、と言われている。フィッシャー以前には、ドイツの戦争への関与の仕方について、どのような研究が主流だったか。説明せよ。(4点)
- 3) フィッシャー以前の研究では、ナチスやヒトラーはドイツの歴史の中でどのように評価されていたか。(4点)
- 4) 以下のア~オの文は第一次世界大戦について述べたものである。この中から、誤っているものをすべて選べ。(3点)

- ア. ドイツ帝位継承者夫妻がセルビアの民族組織のメンバーにより殺害されたことが戦争のきっかけである。
イ. アジアでも戦闘が繰り広げられた。
ウ. 同盟国ロシアでの革命が、ドイツ敗戦の主な原因であった。
エ. 軍隊が疲弊し、首都ベルリンにまで敵軍が迫り、ドイツは休戦を余儀なくされた。
オ. 西部戦線では塹壕戦が採用され、戦争の長期化につながった。

[4] 次のA～Cの文章を読み、下の各問に答えよ。

- A 第一次世界大戦が始まった年に、日本はここにあったドイツの勢力圏を攻撃し、青島などを占領した。その翌年、日本は中国に対してある要求を突き付けた。
- B 1920年代後半、日本はここに3度にわたって出兵し、中国軍と軍事衝突したこともあった。
- C ここに日本が獲得していた権益は、1922年の条約により、中国に返還されることになった。

- 1) A～Cはいずれも中国のある地方(省)について述べたものである。この地方(省)の名前を書け。(2点)
- 2) Aの下線部「ある要求」とは何を指しているか。その名称を書け。(3点)
- 3) Bの下線部「中国軍」を指揮していた人物を、次の選択肢から選べ。(2点)
ア. 袁世凱 イ. 孫文 ウ. 蔣介石 エ. 毛沢東
- 4) Cの下線部をめぐって、1919年に北京などで起こった抗議運動を何というか。(3点)

[5] 次の資料は1919年に発表された文書の一部である。これを読み、下の各問に答えよ。

また、憤りを含み怨みを抱いている二千万の民を威力をもって拘束することは、ただに東洋の永遠の平和を保障する所以でないばかりか、これによって、東洋安危の主軸である四億の支那人の日本に対する危懼[おそれ]と猜疑をますます濃厚にさせ、その結果として東洋全局の共倒れ、同時滅亡の悲運を招くであろうことは明らかである。

- 1) 上の資料は、1919年のある事件のさいに発表された。その事件とは何か。(3点)
- 2) 資料中の下線部は具体的に何を意味するか。(2点)
- 3) この資料ではどのような論理で、この植民地の独立を主張しているか。(6点)
- 4) 1919年の事件の後、この植民地に対する日本の対応は[ア]政治から[イ]政治に変化した。アとイの空欄に入る語句を書け。(2点)
- 5) 1919年の春から初夏にかけて、世界各地の植民地などで独立運動が激化した。そのことの理由を説明せよ。その際、「民族自決」と「パリ講和会議」という語句を必ず用いること。(6点)

[6] 次の年表を見て、下の各問に答えなさい。

1924年：加藤高明内閣誕生。以後、1932年まで政党内閣。

1927年：(a) 田中義一内閣誕生。

1928年：(b) ある出来事(満洲某重大事件) ⇨ 翌年、田中義一内閣総辞職

1930年：ロンドン海軍軍縮条約をめぐり [①] 艦干犯問題

⇨ [②] 首相が狙撃される。

- 1) ①～②に入る語句を書きなさい(人名を含む)。(3点×2)
- 2) 下線部(a)の内閣の与党である政党を、次の選択肢から選びなさい。(2点)
ア. 憲政会 イ. 立憲民政党 ウ. 立憲同志会 エ. 立憲政友会
- 3) 下線部(b)の出来事で殺害された人物を次の選択肢から選びなさい。(2点)
ア. 河本大作 イ. 孫文 ウ. 蔣介石 エ. 張作霖

[7] 次の各問に答えなさい。

- 1) 世界恐慌は西暦何年に始まったか。(2点)
- 2) 1932～33年にウクライナは「大飢饉(ホロドモール)」に見舞われ、数百万人が餓死したといわれる。大飢饉はどのような原因で引き起こされたか。「五カ年計画」、「重工業」、「農業の集団化」という語句を全て用いて説明せよ。(6点)
- 3) 満州事変は、[A]年9月に、奉天近くの[B]で南満洲鉄道が爆破された事件、すなわち[B]事件をきっかけに起こった。Aに入る数字、Bに入る地名を書きなさい。(2点+3点)
- 4) 満州事変のさい、日本軍の主力として活躍したのは、大連などの遼東半島の日本の租借地の守備隊だった。この守備隊を何と呼ぶか。漢字3文字。(3点)
- 5) 満州事変が起こった背景にはどのような事情が考えられるか。中国に関わる事情を説明しなさい。その際、次の語句を必ず用いること。(6点)

軍閥、北伐、ナショナリズム

問題は以上です。

クラス _____ ・ 整理番号 _____ ・ 名前 _____ 101

[1]

- 1) 初め: [帝国主義の始まり]
 終り: [ソ連解体、東欧の社会主義圏の崩壊など]
 2) [ア]
 3) [同文同種、日鮮同祖、日朝同祖]

[2]

- 1) A[カ] B[ア]
 2) ①[ロシア] ②[義兵]
 ③[併合] ④[朝鮮]
 3) 第一次: [エ] 第二次: [イ] 第三次: [ア]

[3]

- 1) [1914 年]
 2) 第一次世界大戦はサラエヴォ事件をきっかけに偶発的に勃発し、ドイツも他の列強と同様、自衛のために戦争に巻き込まれていったのであって、侵略的意図から参戦したわけではない。
 3) 侵略主義的な思想をもたない第一次大戦時のドイツの指導者らこそがドイツの伝統に連なる存在で、侵略主義的なヒトラーやナチス政権は、突然変異的に出現したドイツ史の中の例外的存在とみなされた。
 4) [ア、ウ、エ]

[4]

- 1) [山東 省]
 2) [対華二十一カ条要求]
 3) [ウ]
 4) [五・四運動]

[5]

- 1) [三・一運動]
 2) [朝鮮半島の人々]
 3) 日本による朝鮮の植民地支配は、中国人の日本に対する猜疑心・警戒心を強め、日中対立を招いて、東アジア全体の滅亡につながる。そのような事態を避けるためには、中国人が無用の警戒心を抱くことがないように、朝鮮を独立させることが肝要である。
 4) ア[武断] イ[文化]
 5) 14 カ条の平和原則は民族自決の原則を含んでいたため、植民地住民は第一次大戦後に独立問題が進展することを期待した。しかし、パリ講和会議では植民地保有国の利害が優先され、独立の問題は取り上げられなかった。このように期待を裏切られたことが 1919 年の独立運動・民族運動の激化につながった。

[6]

- 1) ①[統帥] ②[浜口雄幸]
 2) [エ] 3) [エ]

[7]

- 1) [1929 年]
 2) 1928 年から始まる五カ年計画で重工業の建設が進められたが、機械を購入する資金確保のため、ソ連政府はウクライナの農民から穀物を強制的に徴発した。農業の集団化により抵抗する術を失っていた農民たちは、1932 年の不作時にも穀物の強制徴発を受け、餓死へと追い込まれた。
 3) A[1931 年] B[柳条湖]
 4) [関東軍]
 5) 1920 年代の中国ではナショナリズムが高まり、1928 年の済南事件以後反日感情も悪化した。1928 年には蒋介石による北伐が完了し、さらに、日本に協力的であった満州の軍閥張作霖を継いだ張学良が蒋介石に合流したため、満洲における日本の権益の維持が困難になりつつあった。このような事態を謀略で打開することが関東軍の軍人の一部により計画されていった。

比較社会史 (4年生) 2023 年度前期・定期試験問題

クラス (J) ・整理番号 (38) ・名前 (三井 知世)

[1] 次の文章を読み、下の各問に答えよ。

ファシズムという単語は、[①]語の fascio (結束) に由来する。ドイツでファシズム体制はどのように形成されたのか。

下の表を見ると、(a) ナチスは、(b) 1930 年 9 月の国会選挙で議席を伸ばし、1932 年に第一党になったことがわかる。そして、1933 年 1 月には (c) ヒンデンブルク大統領により、(d) ナチスの党首が首相に任命され、ナチス政権が誕生した。同年 3 月の選挙で大勝すると、ナチス政権は (e) ある法律を成立させ、立法権を政府に移し、独裁体制を築いていった。

表 ドイツのおもな政党の議席数の推移

	1928.5	1930.9	1932.7	1932.11	1933.3
ナチス	12	107	230	196	288
国家国民党	73	41	37	52	52
ドイツ人民党	45	30	7	11	2
中央党	62	68	75	70	74
社会民主党	153	143	133	121	120
政党 A	54	77	89	100	81

1) [①]に入る国名を書け。(2点)

2) 下線部 (a) について。ナチスの正式名称を下の選択肢から選べ。(2点)

- ア、国民社会主義ドイツ労働者党 イ、ドイツ国民戦線
ウ、ドイツ社会民主労働党 エ、ドイツ社会革命党

3) 下線部 (b) の背景として考えられる事柄は何か。説明せよ。(2点)

4) 下線部 (c) の人物は「政党 A」を抑えることをナチス政権に期待した。政党 A の党名を書け。(2点)

5) 下線部 (d) の名前を書け。(2点)

6) 下線部 (e) に該当する法律を次の選択肢から選べ。(2点)

- ア、国家総動員法 イ、全権委任法 ウ、戦時共産主義体制 エ、治安維持法

[2] 次の文章を読み、下の各問に答えよ。

イギリス、ドイツ、ソ連の 3 国の動向に注目して 1930 年代のヨーロッパの国際関係を考える場合、注目すべきは、[①]が次々と要求を突きつけるのに対して、(a) 戦争を避けるために譲歩を繰り返した [②]の政策である。代表的なのが 1938 年 9 月に (b) ある都市で開かれた会議で、(c) スデーテン地方を領有する国の了解なしに同地方を [③]に割譲することが決められた。他方、この政策は、[④]を利用して [⑤]の西方への拡大を防ごうとしたと

解釈することもできる。

他方、従来資本主義諸国と対立していた [⑥]だったが、1930 年代中葉には [⑦]が自国を敵視していることを警戒して方針転換し、資本主義諸国との協調路線を模索し始めた。それと連動して、1935 年、「(d) 共産主義者の国際的な組織」が、各国の共産党に対して、(e) ファシズムに反対する諸勢力との共闘推進を指示した。その結果、いくつかの国で共産党が参加した反ファシズム政権が成立したが、そのうちの (f) ある国で、軍隊によるクーデタが勃発し、反ファシズム政権と軍隊が戦う内戦に発展した。

1) 文中の①～⑦に入る国名を、イギリス、ドイツ、ソ連より選んで記入せよ。(1点×7)

2) 下線部 (a) と (e) が指すものをそれぞれ漢字 4 文字で書け。(2点×2)

3) 下線部 (b) の都市名を書け。(2点)

4) 下線部 (c) と (f) に該当する国名を書け。(2点×2)

5) 下線部 (d) の名称をカタカナ 6 文字で書け。(2点)

[3] 次の A と B の二つの資料は、日中戦争中のある年に日本政府により発表された。これを読み、下の各問に答えよ。

A 帝国政府は [①] 攻略後尚ほ (a) 支那国民政府の反省に最後の機会を与ふるため今日に及へり。然るに国民政府は帝国の真意を解せず漫りに抗戦を策し、内民人塗炭の苦しみを察せず、外東亜全局の和平を顧みる所なし。仍て (b) 帝国政府は爾後国民政府を對手とせず、帝国と真に提携するに足る新興支那政権の成立発展を期待し、是と両国国交を調整して更生支那の建設に協力せんとす。

B 帝国の冀求する所は、東亜永遠の安定を確保すへき新秩序の建設に在り。今次征戦究極の目的亦此に存す。(中略) 帝国が支那に望む所は、この (c) [②]新秩序建設の任務を分担せんことに在り。帝国は支那国民が能く我が真意を理解し、以て帝国の協力に応へむことを期待す。固より国民政府と雖も従来の指導政策を一擲し、その人的構成を改替して更生の実を挙げ、新秩序の建設に來り参するに於ては敢て之を拒否するものにあらず。

1) 上の A と B の資料はそれぞれ「第一次、第二次 [] 声明」である。[] 内に入る語句を書け。(2点)

2) 日中戦争は西暦 [ア] 年、北京郊外 [イ] での日中武力衝突から始まった。[ア] に入る数字を書け。また、[イ] に入る地名を次の選択肢から選べ。(2点+2点)

- ア、濟南 イ、通州 ウ、柳条湖 エ、盧溝橋

3) 資料 A の [①] には当時の中国の首都が入る。都市名を書け。(2点)

4) 下線部 (a) について。この当時の国民政府の指導者を次の選択肢から選べ。(2点)

- ア、蔣介石 イ、孫文 ウ、張作霖 エ、毛沢東

- 5) 下線部 (b) の見解の発表は、どのような状況を招くことになったか。(4 点)
- 6) 資料 B は、下線部 (c) が日中戦争の目的だと主張している。[②]に入る語句を漢字二文字で書け。(2 点)
- 7) 資料 A と B を比較すると、日本政府が中国の国民政府に対してとった態度が変化していることがわかる。どのように変化しているか、説明せよ。(4 点)

[4] 次の文章を読み、下の各問いに答えよ。

[A] 年 8 月、(a) ある条約が結ばれた。その条約の第一条では「条約を結んだ国は両方とも、単独であれ他国との共同であれ、相互に一切の実力行使、侵略行動、攻撃を差し控える義務を負う」と定められていた。この条約の秘密条項に基づいて、同年 9 月、ドイツは[ア]に侵攻した。イギリスとフランスはドイツに宣戦布告し、第二次世界大戦がはじまった。

1940 年春にドイツ軍は活動を本格化させ、イギリスとフランスの連合軍を撃破し、6 月にフランスが降伏した。残ったイギリスは、4 月に就任した首相の指導の下、抵抗を続けた。

1941 年 6 月、ドイツは突如[イ]に侵攻し、占領地を大きく拡大した。

1941 年 8 月、(b) アメリカとイギリスの首脳が会談し、(c) 共同の文書を発表した。この文書では連合国側の戦争目的が明示され、翌年 1 月の連合国共同宣言にも影響を与えた。

- 1) [A]にあてはまる数字を書け。(2 点)
- 2) アとイの[]にあてはまる国名を書け。(1 点×2)
- 3) 下線部 (a) の条約名を書け。(2 点)
- 4) 下線部 (b) について、当時のアメリカの大統領は誰か。(2 点)
- 5) 下線部 (c) の文書を何と言うか。(2 点)

[5] 次の文章を読み、下の各問いに答えよ。

[A] 年 4 月、日本は (a) ある国と中立条約を結んだ。8 月にアメリカは日本への石油の輸出を禁止した。9 月と 11 月に昭和天皇が出席した御前会議が開かれ、日本の方針が定められた。11 月には、アメリカの国務長官ハルが、日本政府に対して、いわゆる (b) ハル・ノートを出した。その内容は、「中国と[①]から日本軍を撤退させよ。日独伊三国同盟を廃棄せよ。日本の支援により (c) 南京に成立した政権を否定せよ」などであった。日本側はこれを受け入れることはできなかった。12 月 8 日、日本海軍は (d) ある場所を奇襲攻撃し、日本とアメリカの戦争が始まった。

- 1) [A]に入る数字を書け。(2 点)
- 2) 下線部 (a) の「ある国」に該当する国名を書け。(2 点)
- 3) 下線部 (b) について、「アメリカが石油の輸出を止め、ハル・ノートを押しつけたから日

本は自衛のために戦争を決意した」という見解に対してどのように反論できるか。(4 点)

- 4) [①]に入る地名について、この地域に属している現在の国を一つ挙げよ。(2 点)
- 5) 下線部 (c) の政権の指導者は誰か。次の選択肢から選べ。(2 点)
- ア、汪兆銘 イ、蒋介石 ウ、張学良 エ、モロモロ
- 6) 下線部 (d) に該当する地名を書け。漢字 3 文字。(2 点)

[6] 次の A と B の資料を読み、下の各問いに答えよ。

A [米英は]大東亜隷属化の野望を逞うし、遂には大東亜の安定を根柢より覆さんとせり。大東亜戦争の原因茲に存す。……大東亜各国は、相提携して大東亜戦争を完遂し、大東亜を米英の桎梏より解放して其の自存自衛を全うし、……。

B 占領地ニ対シテハ差シ当リ軍政ヲ実施シ治安ノ恢復、重要国防資源ノ急速獲得及作戰軍ノ自活確保ニ資ス。……現地土民ニ対シテハ皇軍ニ対スル信倚ノ觀念ヲ助長セシムル如ク指導シ独立運動ハ過早ニ誘発セシムルコトヲ避クルモノトス。

- 1) 資料 A に該当するものを次の選択肢から選べ。(2 点)
- ア、国体明徴声明 イ、大東亜共同宣言 ウ、帝国国策遂行要領 エ、国家総動員法
- 2) 資料 A では太平洋戦争の目的はどのように考えられているか。説明せよ。(4 点)
- 3) 資料 A で表明された戦争の目的は実態とはかけ離れたものであったと言われている。この点について、資料 B を参考にして、説明せよ。(4 点)

[7] 次の年表を見て、下の各問いに答えよ。

[年表] 第二次世界大戦中の連合国首脳会談

- ㉠1943 年 11 月：米英中。[①]の無条件降伏、満州や[②]の中国への復帰など決定。
- ㉡1943 年 11 月：米英ソ。北フランス上陸作戦について。この会談の結果、1944 年 6 月に米英軍が北フランスの[③]に上陸。
- ㉢1945 年 2 月：米英ソ。ドイツの分割占領などについて。
- ㉣1945 年 7 月：米英ソ。[④]に対し無条件降伏を勧告する宣言を出す。

- 1) 資料中の①～③に入る地名や国名を書け。(1 点×3)
- 2) ㉢と㉣の会談の開催地を書け。(2 点×2)
- 3) ㉢の会談では、ドイツの分割占領以外に重要な事柄が決められた。説明せよ。(2 点)
- 4) ㉢と㉣の会談では、米英ソは同じ首脳が出席した。ソ連の首脳の名前を書け。(2 点)
- 5) 「原子爆弾の投下により、早期に戦争を終わらせ、日米双方の犠牲者を大幅に減らすことができた」という意見に対して、どのように反論することができるか。(4 点)

クラス _____ ・ 整理番号 _____ ・ 名前 _____

[1]

- 1) [イタリア] 2) [ア]
 3) 1929 年にはじまる世界恐慌がドイツ経済に打撃を与え、失業者が激増した。
 4) [共産 党]
 5) [ヒトラー] 6) [イ]

[2]

- 1) ①[ドイツ] ②[イギリス] ③[ドイツ]
 ④[ドイツ] ⑤[ソ連] ⑥[ソ連]
 ⑦[ドイツ]
 2) (a)[宥和政策] (e)[人民戦線]
 3) [ミュンヘン]
 4) (c)[チェコスロヴァキア] (f)[スペイン]
 5) [コミンテルン]

[3]

- 1) [近衛]
 2) ア[1937 年] イ[エ]
 3) [南京]
 4) [ア]
 5) 国民政府を否定することで、外交的な手段で戦争を終結させる可能性を自ら閉ざしてしまい、日中戦争が泥沼化することを防げなくなった。
 6) [東亜]
 7) A では「対手とせず」として、外交関係を断ってしまった。B では、国民政府が人員や政策を改め、東亜新秩序建設に協力する意志があるのならば、受け入れる方針。

[4]

- 1) [1939 年]

- 2) ア[ポーランド] イ[ソ連]
 3) [独ソ不可侵 条約]
 4) [ローゼンベルグ] 5) [大西洋憲章]

[5]

- 1) [1941 年] 2) [ソ連]
 3) 現実には、九か国条約違反の日中戦争（日本の中国侵略）やインドシナ進駐を止めさせるために、アメリカは日本に圧力をかけ、戦争となった。また、ハル・ノート以前に、帝国国策遂行要領で日本は対米戦を決定していた。
 4) [ベトナム、ラオス、カンボジア] 5) [ア]
 6) [真珠湾]

[6]

- 1) [イ]
 2) アジア諸国が協力して太平洋戦争を戦いぬき、米英の支配からアジアが解放されて、アジアの自主独立が実現すること。
 3) B の「南方占領地行政実施要領」では、国防上重要な資源を速やかに獲得することが東南アジア占領の目的とされた。また、独立運動が早い段階で起こることを避けるべきとも指示されていた。

[7]

- 1) ①[日本] ②[台湾]
 ③[ノルマンディー]
 2) ㉔[ヤルタ] ㉕[ポツダム]
 3) ドイツの降伏から約 3 か月後にソ連が日本に対して侵攻すること。
 4) [スターリン]
 5) ヤルタ協定に基づいて 8 月上旬にソ連が対日参戦することが決まっており、日本側の史料も、ソ連の参戦こそが日本が降伏を決意した決定的な要因だったことを示している。よって、原爆投下は人道的に問題があるのみならず、軍事的にも不必要な行為だった。